

2020年度事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日迄

特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会

1、事業の成果

昨年度末同様、各事業において新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一年となった。4月5月は国の緊急事態宣言を受け、学童クラブ以外はすべて休講とした。しかし、徐々にコロナについての知識や対処法が定着し、コロナ対策の必需品（マスクや除菌液等）も助成を活用しながら揃えることができ、6月以降は会員・利用者の安全に配慮しながら事業運営を行った。しかし、コロナの特性上、以前のような会員募集や施設利用、企画を行うことはできず、また、会員も退会・休会をやむなくされるなど、会員数・参加者数を伸ばすには至らなかった。そのため、今年度も金融機関から運営資金を借り入れることとなった。会員にも感染拡大防止に協力をいただき、職員は常に安全を考慮しながらの難しい企画運営を迫られた1年だったが、誠実に運営した結果、アプルスが安心して参加できるスポーツクラブだという信頼を得られたと思う。今後もその信頼を失わないよう努め、コロナが明けたときの飛躍の原動力としたい。

●スポーツクラブ事業

子どものクラブは、年度初めに学校で会員募集案内を配布できず、苦しい出だしとなった。同期間中は大人のクラブ活動もすべて中止となったが、宣言が明けると大半の会員は喜んで活動を再開した。しかし、ウイルス蔓延中であることには変わりなく、大々的に募集をかけられるような社会的状況になかったため、新規の会員を多く獲得するには至らなかった。

●スポーツ教室事業

コロナの影響を受けて会員数は伸びなかったが、宣言明けには教室の再開が大変喜ばれた。サッカー教室は職員が指導を引き継ぎ、アプルスらしさが定着し、さあこれからというときにコロナがブレーキとなってしまった。スキー教室は換気機能のある大型バスのみ利用するなど、できる限りの感染予防対策を講じて開催したが、安全のため定員を増やすわけにもいかず苦しい運営となった。スキー教室でGoToキャンペーンを利用したかったが、利用規制がかかり1度しか利用することができなかった。

●スポーツ支援事業

学校体育、スキー教室、学童クラブ、幼稚園、保育園での体育指導および小学校や園の先生を対象とした講演の要請を受けた。学校体育では単元の導入部分での指導が評価され、2年目3年目と依頼をいただいている。スキー教室は、コロナが引き金となり開催する学年が絞られていく感じを受けた。寒河江市の健康増進事業の委託を受け完成をみたが、コロナのためイベント等も中止となり市民の反応をみるに至っていない。また、昨年度に引き続き、子どもゆめ基金の教材開発の助成金を獲得することができた。

●こどもクラブ

4月5月の緊急事態宣言中に唯一収入源となった事業だった。安全と感染拡大防止に配慮しながら、さまざまな制約があるなかでの一日保育がおおよそ三ヶ月に渡り、職員の負担はかなり大きかった。しかし、軽運動場をもつ強みを生かした保育ができたため、子どもたちは自粛のストレスを感じることなく過ごすことができた。その点は保護者にも十分感じていただけたと思う。民間運営のため、国や市からの助成対象から除外される点はこれまでと変わりなく、それが得られればと思わずにはいられない。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
スポーツクラブ	小学生のスポーツクラブ	金、土曜日	クラブハウス他山形市内外	延べ300名	小学60名	6,469
	大人のスポーツクラブ	年間	クラブハウス、アプルスプラス、他山形市内外	延べ450名	大人250名	
スポーツ教室	子どものスポーツ教室	月曜日～土曜日	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ430名	幼児20名 小学生170名	17,092
	大人のスポーツ教室	月曜日～土曜日	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ500名	大人100名	
	子どものスキー教室	12月～3月の土曜、休日	蔵王スキー場	延べ180名	幼児30名、小中学生160名	
スポーツ支援	指導者派遣	年間	山形市内	延べ30名	市内小学校他	5,822
	イベントの開催	年間	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ10名	一般、全会員	
こどもクラブ	学童	月曜日～土曜日	クラブハウス他山形市内	10名	小学生50名	6,657
管理費						26,234